

# 2021 年度事業計画

2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日

2021 年度は当協会の 4 年次にあたり、過去の活動を踏まえ、着実かつ大胆に協会事業を推進していくこととしたい。

## 1. 評議員会、理事会の開催

第 8 回理事会開催（8 月 25 日開催の理事会）。

本年 9 月に 2021 年度定時評議員会を開催する（本日）。

定時評議員会開催後、2022 年 1 月または 2022 年 2 月に第 9 回理事会を開催する。

## 2. 受託調査研究の実施と新規研究企画活動の継続

A T R の将来の研究開発とそれらの社会展開の道筋の強化に資する調査研究を受託できるよう準備を進める。

今年度はこれまで検討を続けてきた新規研究企画活動の成果も踏まえて新規の A T R らしい研究テーマとその成果展開の道筋を明らかにすることを調査研究の目標とする。

次世代の研究者層に“ATRらしさ”をアピールし新たな感動をおこす研究領域と、WinWin の関係を満たす新しい社会連携体制（地域・産学・海外とのコラボ体制）について、資金の調達から必要な人材獲得と関連ネットワークの確立まで多視点の調査研究を行う。

協会が自主的に行っている新規研究企画活動については、今年度も継続する。

## 3. 社会貢献活動

2020 年度は COVID-19 のため社会貢献活動実施を見送ったが、2021 年度は COVID-19 の収束を見込んで地域の社会貢献活動を再開することとしたい。具体的には、将来の情報通信技術者をめざす児童・生徒数の拡大を図るため、京都府南部地域で実施されている小・中学生を対象とする作文コンテストや大学生を対象とする論文コンテストに協賛し、情報通信に関連する優秀な作文や論文に対して賞を出すなどの施策を検討する。

## 4. A T R 株式の取得

A T R 株式を保有する株主において、株式の持ち合い解消と合わせて利益を生まない株式の処分を進める企業やスチュワードコードの厳格な実施を図る機関投資家などが安価に A T R 株を処分する意向がある場合、当協会は、ATR との連携を図るため、予算の範囲内で買取が可能な価格で購入する方針とする。

## 5. その他

地域との連携活動も引き続き積極的に進める。2025 年関西万博を見据えた地域活動に参加し、また、毎年行われている「けいはんな R&D フェア」にも参加する。その際、2020 年度に制作した当協会のロゴマークを活用し、地域における存在感の向上に努める。